

キャスター付きデスクボックス

細かく測って作ることで丈夫できれいなデスクボックスに仕上がります。



【Seriaグッズ】

- 木製BOX ウェストコースト(Lサイズ) 3個
- 自在キャスター2個入り ラバータイヤ仕様 2個
- 木ネジセット50P シルバー(1.6cm) 2個
- サンドペーパー 木工用 8枚入り 1枚
- 木工用速乾 50ml 1個
- ホビー用ハケ15mm 1本
- ハケ多用途用 金巻筋違 50mm 1本
- 木製丸棒2P 45×1.5cm 1個
- 木製角材2P 45×3.8×0.7cm 1個
- 四万十川檜工作用角材 45×3.5×1.0cm 1個
- 黒板ペイント 60ml 1個
- 水性塗料 80ml アースホワイト 1個

【用意するもの】

新聞紙・じょうぎ・プラスドライバー・きり・のこぎり
えんぴつ・コピー用紙・S字フック・紙コップ

【できあがりサイズ】

縦:約50cm 横:約21.5cm 奥行き:約23cm

1 ボックスのパーツを準備します。

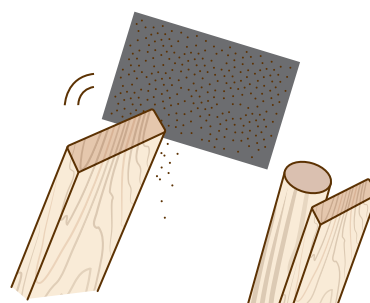
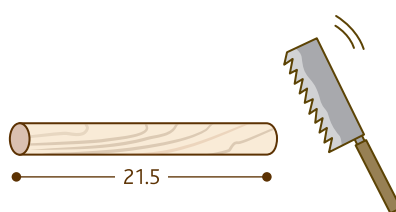
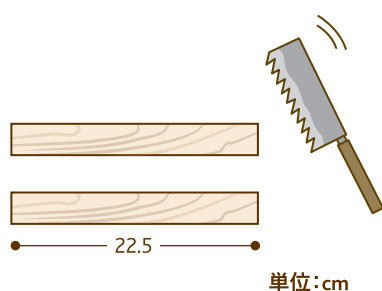
- 1 木製BOXを2個用意し、木工用ボンドで長い面を合わせて接着します。
※接着する際、ボンドがはみ出ないように、端より内側に入った位置にボンドをつけましょう。



- 2 四万十川檜工作用角材をのこぎりで
半分に切ります。

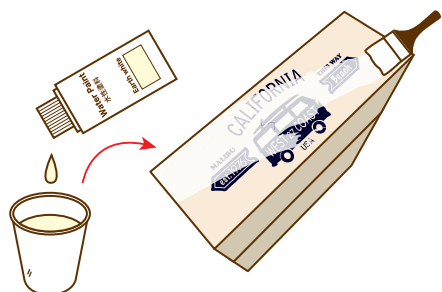
- 3 木製丸棒1本をのこぎりで切ります。

- 4 ②と③は切り口が危ないため、なめらかになるよう
サンドペーパーでやすりがけします。

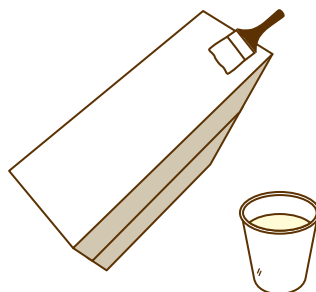


2 ボックスを塗装します。

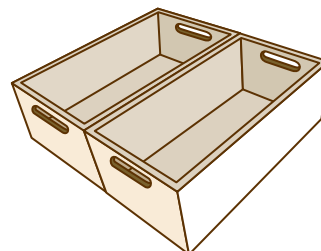
- ① 水性塗料を紙コップに出し、ハケで
①のデザインのある面を2面とも一度ぬります。



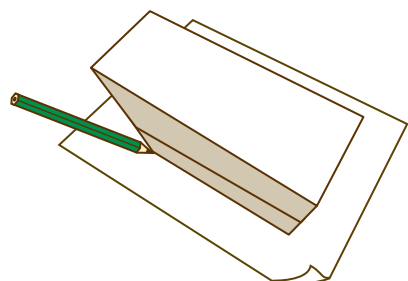
- ② しっかり乾いたことを確認をしてから
もう一度ぬり重ねます。
デザインが透けないようにぬり重ねましょう。



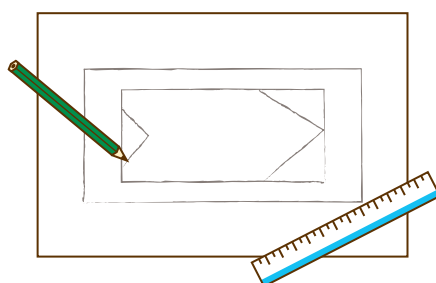
- ③ しっかりと両面が乾くまで置いておきます。



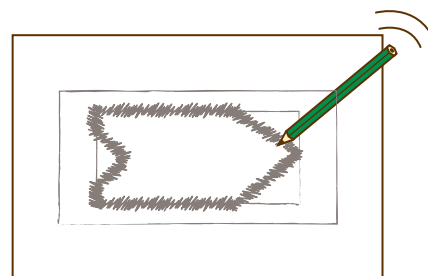
- ④ 水性塗料をぬった面の形をコピー用紙に
えんぴつで型取りしましょう。



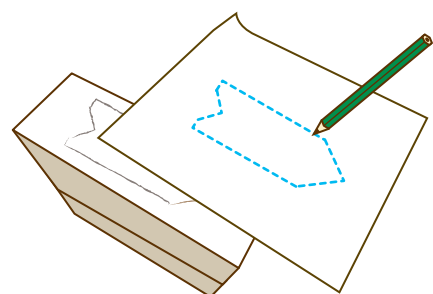
- ⑤ コピー用紙に黒板塗料で描きたい形の
下書きをします。



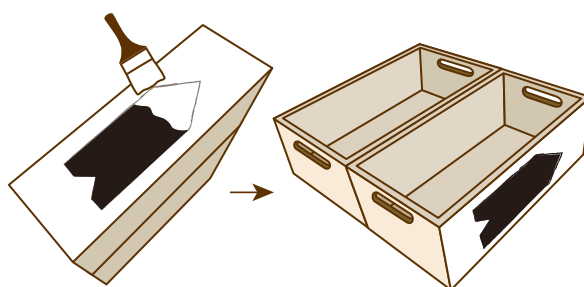
- ⑥ ⑤を描いた紙の裏面をえんぴつで
ぬりつぶします。



- ⑦ ⑥の面をボックスにあてて、
上から形をえんぴつでなぞります。
コピー用紙を取ると絵が転写されています。



- ⑧ 線からはみ出さないように、ゆっくりハケで
線の内側を黒板ペイントでぬります。
しっかり乾かします。

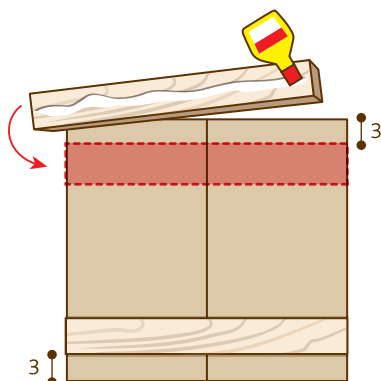


Point

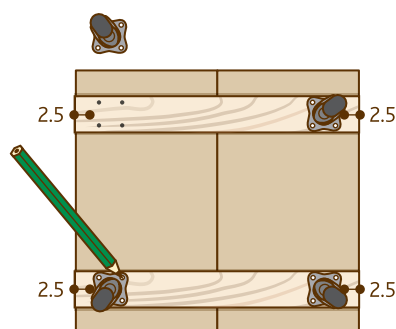
転写する際、あらかじめコピー用紙を塗装面のサイズに合わせはさみで切り、マスキングテープで固定すると、コピー用紙がずれにくく、美しく描くことができます。

3 ボックスにキャスターを取り付けます。

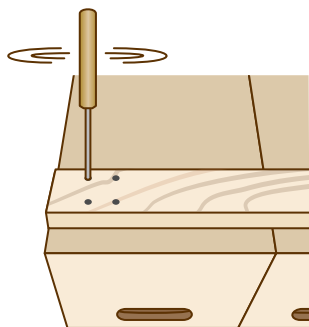
- ① ボックスの底面に④の角材2本を
木工用ボンドで取り付けます。



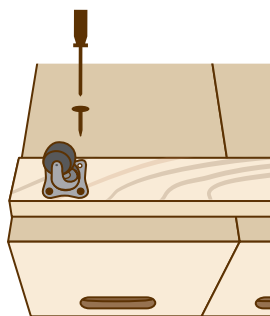
- ② キャスターを角材の端から2.5cmの位置に取り付けます。
角材の上にキャスターを置き、ネジを留める位置にえんぴつで印をつけます。



3 ネジを留める場所にきりで穴を開けます。

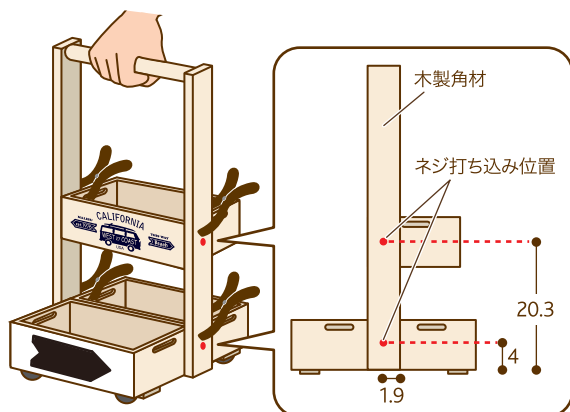


4 キャスターを木ネジ(1.6cm)で固定します。

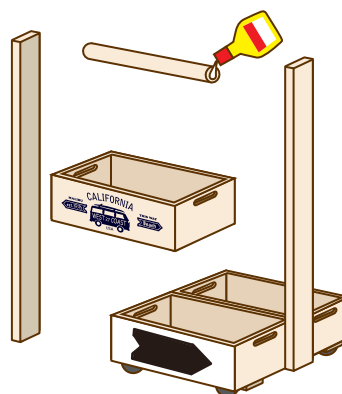


4 パーツを組み立てます。

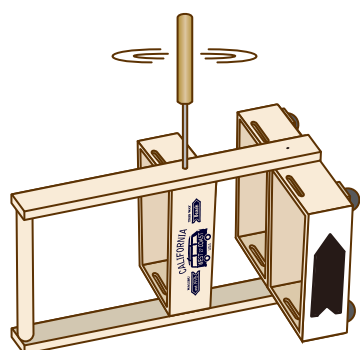
1 一度全てのパーツを組み合わせて、接着場所を確認します。
それぞれのパーツを完全固定するためのネジ打ち込み位置を
メジャーで測り、えんぴつで印をつけます。



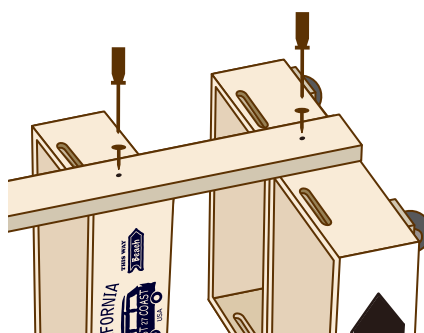
2 それぞれのパーツを木工用ボンドで接着して
固定します。



3 1のネジ打ち込み位置にきりで穴を開けます。



4 木ネジ(1.6cm)でプラスドライバーを使い固定して組み立てます。



<完成図>



※使用イメージです。